

会議の名称	令和5年度 伊予市健康づくり・食育推進協議会
開催年月日	令和5年1月25日（水）
開始・終了時刻	午後1時30分から午後3時30分
開催場所	伊予市保健センター
会長氏名	田中美和会長
副会長氏名	佐々木典彦副会長
出席委員（者）氏名	田中美和委員、佐々木典彦委員、曾我郁恵委員、影山康彦委員、武本侑也委員、安渡偉典委員、友澤千代委員、仲神正人委員、井上理絵委員、野澤美保委員、向井早苗委員、空岡直裕委員
欠席委員（者）氏名	土井一成委員
傍聴者氏名	傍聴者無し
事務局職員職氏名	栗田計誠健康増進課長、篠原知美健康増進課長補佐、大谷香代子健康増進課長補佐、山内朋子健康増進課係長、小倉直子健康増進課係長、松浦あずさ健康増進課主任歯科衛生士、中岡尚子健康増進課主任
説明者の職氏名	篠原知美健康増進課長補佐、山内朋子健康増進課係長
会議次第	1 開会 2 自己紹介 3 協議会について 4 議事 (1)各機関、団体等の健康づくり・食育推進関係の取組及び課題について (2)伊予市の健康づくり・食育推進への取り組み状況について (3)意見交換 5 その他 6 閉会
配布資料等	○資料1 今年度の健康づくり・食育推進関係の取組及び課題 ○資料2 市健康づくり・食育関係事業実施一覧表 ○資料3 健康づくり計画における指標の変化

会議録

発言者	会議の概要
開会 事務局	<p>定刻になりましたので、ただいまから令和4年度伊予市健康づくり食育推進協議会を開催させていただきます。皆様には、ご多忙の中、ご出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>本日進行役を務めさせていただきます、健康増進課の大谷でございます。よろしくお願いいたします。これより着座にて進行させていただきます。</p> <p>当協議会では、伊予市審議会等の委員の公募並びに会議および会議録の公開に関する規則第14条の規定に基づきまして、会議の傍聴を認めております。事前に市ホームページでお知らせいたしました。傍聴希望はありませんでしたのでご報告いたします。また、同規則に基づく会議録を作成するため、会議中の発言を録音させていただきますので、マイクでのご発言にご協力いただきますようお願いいたします。マイクはお席まで職員がお持ちいたします。なお、感染症予防のため、会議中はマスクの着用をお願いいたします。</p> <p>次に、本日の配付資料について確認させていただきます。会次第、配席図、出席者名簿、協議会条例、給食後の歯みがきスタイル指導、計画延長についての4サイズ6枚です。また、資料1、資料2、資料3につきましては、事前に郵送させていただきました。その他、伊予市健康づくり・食育推進計画の冊子につきましても本日お持ちいただいておりますでしょうか？不足のものはございませんでしょうか？よろしいですか。それでは、開会にあたりまして、市民福祉部長空岡が挨拶を申し上げます。</p>
空岡部長	<p>みなさん失礼します。市民福祉部長の空岡でございます。本日は、この令和4年度、伊予市健康づくり・食育推進協議会のご案内をいたしましたところ、昨夜までの大雪がですね非常に心配される中ではございますが、このようにご出席を賜りまして誠にありがとうございます。委員各位におかれましては、平素より医療・保健・福祉はじめ、市政各般に渡りましてご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。</p> <p>昨年度は新型コロナウイルス感染対策により前回は書面開催でございまして、今年度はこのように対面で開催できますこと安堵しております。しかしながら、長引きますコロナ禍に加えましてウクライナ侵攻など世界の情勢の混乱によりまして、急激な原油高、そしてまた物価高騰、円安が市民生活に大きな打撃を与えております。伊予市といたしましては、市民の皆様の健康と安全を第1に地域経済や雇用、そしてまた市民生活をまもるため、全力を尽くすとともに時代とともに変容します社会に柔軟に政策の展開があること急務となっております。また4年目に</p>

事務局	<p>入りましたコロナ禍での生活に幾分慣れたとはいえ私達の日常生活への影響が非常に多くございます。特に運動不足であるとか個人のストレスとか心身への不調をきたす健康への2次被害が懸念されております。これら柔軟に対応する政策を引き続き推進して参る所存であります。今後も市民の皆様が住み慣れたこの地域で心豊かに、そして健康で暮らせるよう委員各位を初め関係団体の皆様方と連携を図りながら健康づくりまた食育推進に取り組んでまいりますので、引き続きのご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げます、私からの開会のご挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>本協議会につきましては、委員総数13名のうち11名のご出席をいただいております。過半数に達しておりますので、伊予市健康づくり・食育推進協議会条例第6条第2項の規定により本協議会が成立しておりますことをご報告させていただきます。なお、土井委員からは欠席のご連絡がございましたので、ご報告いたします。</p> <p>それでは委員の皆様にご自己紹介をお願いしたいと存じます。お配りしております委員名簿の順番にご自己紹介をお願いいたします。それでは田中会長様より順次お願ひします。</p>
田中会長	<p>たなか消化器科クリニックの田中と申します。どうぞよろしくお願ひします。我々の診療の主要な部分を占めます生活習慣病は、まあ食生活が主に関係がある疾患でございますので本日のテーマは大いに関心がありますので、どうぞよろしくお願ひいたします。</p>
佐々木副会長	<p>久しぶりで皆さんの顔を拝見いただきます。ありがとうございます。私は伊予市下吾川で歯科を開業しております歯科医です。私はその歯科で要するに入り口ですね、田中先生が胃腸科で出口ということで人体の上から下まで担当できるなという気しております。どうぞよろしくお願ひいたします。</p>
曾我委員	<p>松山東雲短期大学の曾我と申します。大学の方では、各ライフステージの栄養の取り方を担当しております、その中でも保育所と幼稚園の子供を対象とした研究を専門としております。今日の会議で先生方のいろいろなご報告を楽しみに勉強をさせていただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。</p>
影山委員	<p>愛媛県中予保健所健康増進課の医監の影山と申します。昨年度より中予保健所に赴任してきて参りまして、昨年度は書面開催ということで皆様とお会いすることができなかつたんですけども、今日、またいろいろとお話させていただいたらと思ひております。あと本日実務担当者として健康づくり推進係川口専門員にも参加同行して参加させていただくことになっておりますので皆様よろしくお願ひいたします。</p>
武本委員	<p>すいません。遅れまして申し訳ないです。伊予市青年農業者の竹本と</p>

安渡委員	<p>申します。ちょっと頭がボサボサなんで帽子でちょっと失礼します。非常に寒波がちょっと強力な寒波来まして、ちょっとバタバタしておりましたんで、青年農業者としてはですね、なかなか食育の活動のこともなかなかちょっとできない状態が続いてはおりまして、特に今までは資料にあるんでまた後であれなんですけど、園児対象にした活動してたんですけど、特にやはりそういう活動はちょっと難しいというところで活動の内容をですね、ちょっと変えてできることがあればいいなというふうには思ってますので、また後でお話させていただけたらと思いますのでよろしくお願ひします。</p> <p>伊予市健康づくりの会の会長やらしていただいております安渡偉典と申します。よろしくお願ひします。今日は去年の中旬に中山の方で、40センチほど雪が積もりまして、山沿いでは50センチ60センチいったんですが、いや今日はどうなることかと思って心配してたんですけど、風が強くてですね、雪はそんなに降りませんでしたので、何とかやってくれました。本日はどうぞよろしくお願ひいたします。</p>
友澤委員	<p>失礼します。伊予市食生活改善推進協議会の会長をしています友澤です。栄養士さんにいろんな食生活のこと、その他いろいろ教えていただきながら、各グループのリーダーさんたちの研修会があって、そこで習ったことを各グループに伝達したりとか県からの依頼のいろいろなイベントととか、それから食生活に関する伝達を行っています。また詳しいことは後ほどお伝えしたいと思います。よろしくお願ひいたします。</p>
仲神委員	<p>失礼します。すみません。伊予市校長会代表を代表いたしまして参りました伊予中学校の仲神と申します。どうぞよろしくお願ひします。この会、初めて参加させていただくんですが、伊予小学校では以前より食育プロジェクトということで、さつまいもとか栽培とかやっております。今年度から小中連携で、本校でもJAさんに協力していただいて、2年生の総合学習で食育プロジェクト野菜作りとみかん園を作るということをすすめていっております。また勉強させてください。どうぞよろしくお願ひします。</p>
井上委員	<p>失礼します。伊予市小中学校養護教諭代表で来させていただきました井上理恵と申します。私は、南山崎小学校なんですけれども、学校の方ではびわ葉茶作りの方を3年生の総合でさせていただいております。また、この会は初めてなんですけれども、先生方からいろいろなご意見とかいろんな情報を持って帰りまして、また各学校の養護教諭にも伝えてまいりたいと思いますので、またよろしくお願ひいたします。</p>
野澤委員	<p>栄養教諭代表の郡中小学校在籍野澤美穂と申します。よろしくお願ひ致します。市内には、栄養教諭が3名在籍しております3名で市内13校の小・中学校の食育を担当させていただいております。主に給食の実施</p>

向井委員	<p>と給食時間に学校訪問して指導させていただいたり、5.6年生の家庭科を中心に食育活動をさせていただいております。よろしくお願いいたします。</p> <p>公募委員の向井早苗と申します。一応、栄養士の方、資格取ってまして、今は去年から特別養護施設の介護現場の方で介護士さんのサポート介護士さんもすごい忙しいので人手足りないので、周辺業務のお手伝いってことで週2日ほど入ってるんですけど、実質、食事のことは全部私のお世話になってしまうようになってしまいました。食事の介助のお手伝いとかしてるんですけど、特養の現場でお年寄りが食事をするのに作るのは厨房で作ってるんですけどね。本当にいろんなことを感じます勉強させていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
空岡委員	<p>失礼いたします。先ほどご挨拶させていただきました市民福祉部長空岡直裕でございます。本席も初めてでございますので本日はどうぞよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。続きまして事務局を紹介いたします。</p> <p>失礼いたします。本協議会で事務局を務めます伊予市民福祉部健康増進課です。私は課長の栗田と申します。本日はどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>同じく健康増進課の課長補佐の大谷と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>健康増進課課長補佐の篠原知美と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>同じく健康増進課の係長、栄養士をしております山内と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>同じく健康増進課、歯科衛生士をしております松浦と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>同じく健康増進課係長の保健師をしております小倉と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>同じく健康増進課で主任をしております保健師の中岡と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>ここで協議に入ります。協議に入ります前に、当協議会につきまして、事務局より説明をいたします。お手元にごございます協議会条例をご覧ください。</p> <p>本協議会は第2条にごございます事項について調査及び審議をするものでございます。最初に、健康増進法に基づく健康増進計画の策定に関すること、2つ目に、食育基本法に基づく食育推進計画の策定に関すること、3つ目に、計画の見直しに関すること、4つ目に健康づくり及び食育に関する政策の推進に関すること、以上の4点でございます。</p>

	<p>続きまして、委員の任期でございますが、第 4 条でございますとおり、委嘱または任命の日に任命の日の属する年度の翌々年度の 3 月 31 日、すなわち令和 5 年 3 月 31 日までが任期となっております。ただし、委員が任期中に入れかわった場合、補欠委員の任期は前任者の在任期間となります。委員の報酬に関しましてご説明いたします。市の審議会等におきましては、伊予市特別職の職員の報酬および費用弁償に関する条例に基づきまして委員の皆様へ報酬をお出ししております。会長の報酬は、日額 1 万 5000 円、その他の委員の報酬は 5700 円でございますが、今年度より口座払いにさせていただいております。簡単ではございますが、以上で、協議会の趣旨等についての説明を終わります。</p> <p>それでは議事に入ります前に、田中会長様に一言ご挨拶をいただきたいと思っております。</p>
田中会長	<p>ご指名にあずかりました田中でございます。新型コロナの方が 3 年経ちまして、まだまだなんせ収まらない状況ですので 3 年も経ちますと、やっぱり皆様も感染対策には熟知されているような状況でございます。この際に対面で会が開かれることは適切なことじゃないかと思っております。それでは皆さん活発なご討議よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。なお、この後の議事進行につきましては、協議会条例第 6 条の規定に基づき、田中会長に議長をお願いしたいと存じます。田中会長よろしく申し上げます。</p>
田中会長	<p>それでは会議次第に沿って議事を進行させていただきます。協議事項 1、各機関団体より今年度の健康づくり食育推進関係の取組と課題について 6 名の委員より報告をいただいております。資料 1 の順番で各委員より報告をお願いいたします。</p>
影山委員	<p>愛媛県中予保健所からの報告させていただきます。中予保健所としましては、健康づくりに関しまして健康寿命の推進と健康格差の縮小、あと生活習慣病発症予防と重症化予防の徹底ということで、あと栄養、食生活、身体活動、運動、休養、飲酒、喫煙並びに歯、口腔の健康に関する生活習慣および社会環境の改善というところで目標を立てて取り組まさせていただきます。県全体の活動もございますので、中予保健所としてさせていただいてるところの取り組みについて記載させていただきます。</p> <p>こちらのみきちゃん健康通信ということで、中予管内の事業所等に月 1 回程度メールを送らせていただいております。健康づくりに資するような情報でありますとか、その他コロナに関するような情報も併せて発信させていただいております。具体的には 2 枚目にあるような「みきちゃん健康通信」というイラストでということか、作らせていただいておりますけど、こういった内容を各事業所等に送らせていただいております。他にはちよ</p>

田中会長
武本委員

っと県全体の事業にはなりませんけども、ビッグデータ活用、健康づくり活用県民健康づくり事業というのがございましてそれでデータとして出てきたものが、愛媛県全国的にも血圧が高いということが指摘されておりました、そういうことから、愛媛県の健康課題が高血圧であるということで、健康づくり県としては高血圧をターゲットに健康づくりの活動させていただくというふうな方針もございまして、こういうふうなチラシ、県の方で作ったチラシでございまして、こういうの機会があるごとに県民の皆様に配布させていただいて啓発活動等を行って形になります。中予保健所としては、そういうふうな県全体の事業とあわせまして、そういうふうなことを取り組んでおります。以上になります。

次に武本委員からお願いします。

はい。青年農業者なんですけども、書いてることはですね例年も同じことを書いてるんですけど基本的に、計画としてずっとやってたコロナ以前まではやってたのが、なかむら保育所さんでの、とうもろこしの播種とか収穫体験とか試食とかその場で食べていただくっていうようなことで食育ということでやってたんですけど、このことがですね、特に我々自営業者はコロナに対してリスクが高いというか、かかってしまったら仕事ができなくなる、下手すると栽培管理にかなり支障が出てですね収入的にひよっとするとですよ、その厳しい状態になってしまう恐れがあるので、なかなかそういうリスクを含めて、特にそのリスクの高いことになってしまう恐れのある、その園児ないし児童さん対象の活動がちょっと難しいんだよねっていうことで、できてないところです。状況からしてですね、今後の情勢がどうなっているかというのもありますけど、今、5類に見直すとか、そういうふうなことになってますけど、実際のところ、その特段その確定的な治療薬ができていないわけではなく現状で、今後、どのくらいリスク管理していこうかなっていうふうにならざるにちょっとずっと検討してる状態なんで、もうそろそろ大丈夫だろうと特に僕個人として気になってるのは、その日本では後遺症って言うやつですけどロングコビットの特に重い症状になった場合ですね可能性は高くはないかもしれませんが、ひよっとすると長期間にわたって仕事ができないっていう状態になりうる可能性があるということで、リスク管理はしておくに越したことはないというのが、ちょっと自営業者としての特に農業というのは、我々が主体になって、その仕事をしてるので、もう誰も、しかも何ですかね、交代していただける方がいないというか僕にしかできないっていうようなことがありますんで、ちょっとなんでしょうシビアにやらせていただいているところで、ちょっと難しいのかなと、もう一つの地産地消活動に一応、該当してるということにしますけど、対面販売ですよ。このイベントも去年は、愛媛松山産業ま

つりは開催されたんですけど、青年農業者としては出展見送りという形にしました。来年に関してはどうなのか、おそらく開催されるのじゃないかなと思ってるんですけど、伊予市の「花まつり」と「ふれあい土曜夜市」ですね、こちらも、多分、開催されていくようになるのかなと思うんですけど、そうなったら出展していこうかなとは思ってはいます。ちょっとここも情勢次第でどうなるかというところではありますけど、基本は前向きにやっちはいるというところであります。こういう状態の中で青年農業者としては、何でしょうね、この食育推進協議の中では、メインどころじゃないかもしれないんですけど、そういう形で関わらせていただいているので、何か農業者として情報発信できるようなことがあれば、例えば学生ではなくて学生ではないとか学生でもいいんですけど、何かお話するような機会があって、そういうようなところで農業はこういうことですよとか、例えば農薬に関して皆さんが思ってることとかですよ。例えば、実際、食に関して、安心安全その僕らが特に語られることはそういうところ、栄養のところまでいくと完全に僕らも専門的なことは知らないですから、何とも言えないんですけど安心安全に関することとかは僕らも気にかけてやってることですから、そういうようなことは、情報発信としてできるのかなと、それは一応、食育に繋がると思ってるので、そういうようなことが何かの機会あれば、僕たち青年農業者として何かお役に立てるのではないかなというふうには考えています。それ以外のことに関しては、ちょっとなかなか思いつかないので、もし何かそういう逆にこういうようなことをやっていただけたらどうかなみたいなのがあればですね提案いただいたら、あの回答して検討させていただきたいなというふうに思ってます。以上です。

田中会長

ありがとうございます。それでは次に健康づくりの会、安渡委員よろしく願いいたします。

安渡委員

はい。伊予市健康づくりの会の会長の安渡偉典と申します。活動ですが、あの令和4年度におきましては厚生労働省の指針に沿ったですね、新型コロナウイルスの感染予防策を講じた上で、活動を実施してまいりました。役員会ですが、各支部の1名の参加としまして年間5回を実施しております、各支部での今後の取り組みの予定やイベントによって健康促進の方法について協議してまいりました。それから顧問の愛大の先生方や保健所の方、健康増進課の方にも、ご協力いただきまして会報を作成し、支部役員を通じて会員に配布する予定です。会を通じてイベントの実施報告や今後の健康教室の予定について発信を行う予定です。たちまちは、1月に中山で、2月には双海で高血圧についての健康教室を保健師の小倉さんをお願いしまして実施する予定になっております。それから各支部での取り組みですが、双海支部では、ラジオ体操を毎日実施

	<p>平均 15 名参加しております。歩こう会、第 3 日曜日に実施しております、平均 10 名参加しております。南北山崎支部ですが、料理教室これは 1 回 10 名、2 月で予定ですが、これを実施しております。郡中支部では、ヨガ教室週 1 回実施しております、年間延べ約 672 名参加しております。それから健康体操、これ週 1 回、2 ヶ所で実施しております、年間で延べ 2470 名の参加を実施しております。中山支部では、役員会を年間 3 回を実施しております。11 月 22 日には東温市の秋のウォーキング大会に参加しております。その時は、また、東温市の方は、大体 60 名参加しております。全体の取り組みとしましては、愛大の木下先生によるビフィズス菌の研究に全支部で研究に協力しております。それから中山支部担当で 11 月 25 日、秋のウォーキング大会を実施しております。参加者は全部で 75 名事務局さん入れまして、大体 80 名で実施しております。健康づくりの会が、以上でございます。</p>
田中会長	<p>ありがとうございます。それでは続きまして食生活改善協議会の友澤委員よろしくお願いたします。</p>
友澤委員	<p>伊予市食生活改善推進協議会の友澤です。取り組みの名称、取り組み内容は、グループ伝達講習会 15 グループが各地区で毎月 1 回程度の開催していましたが、新型コロナウイルス感染症のため中止は多く、現在は人数制限、作ったものは持ち帰りを実施してます。令和 3 年 67 回約 721 人、今年も昨年並みに実施してます。対象は地域住民の食生活、運動、休養、喫煙、それから飲酒等の生活習慣改善のためにバランスの良い献立の調理実習を行っております。親子の食育教室、夏休み親子ふれあい健康教室 8 月 24 日、対象は市内の小学生で、その保護者、内容は暑さに負けない生活のポイント、実習、手作りおやつ、くるみ饅頭、抹茶ババロアを作りました。そのときは食べないで持ち帰りにしました。生涯骨太クッキング 10 月 11 日、対象は地域住民、参加者 16 名、講話、調理実習「鯛のワカメ蒸し梅ソース、根菜の蒸し焼き浸し、おからと野菜のポテサラ風、里芋とレーズンのきんつば風」を作りました。これも持ち帰りにしました。シニアカフェ、茶話会ですけど、1 月実施予定でしたがコロナの関係で 2 月に実施する予定だそうです。対象は高齢者です。シーフード料理教室、対象は地域住民、地域の魚を使っての調理実習、お魚のさばき方などを教わります。実施は年間 6 回ですが、まだ 2 回ほどしてないところがあるみたいです。これも、年度内には 3 月いっぱいには、する予定です。以上です。よろしくお願いたします。</p>
田中会長	<p>ありがとうございます。それでは引き続きまして伊予市小中学校養護教諭の井上委員お願いたします。</p>
井上委員	<p>失礼します。伊予市養護教諭代表の井上です。発表させていただきます。取り組みの名称ですが、伊予地区養護教員部の取り組みとして伊予</p>

市だけではなく、松前、砥部の養護教諭と一緒に、現在、子どもの心の健康課題への対応ということで、令和4年度と令和5年度はすすめております。その中では、健康通信の発行と教職員向けの研修資料、児童支援シート、専門機関一覧の作成などを現在進めております。伊予市内の小・中学校の取り組みで共通していることが2点あります。栄養教諭の先生と連携した栄養相談及び生活習慣の実施、これは小児生活習慣病予防健診の結果の該当者を対象にしております。市内中学校では思春期教室の実施を行っております。外部講師や養護教諭による性に関する指導を行っております。また、各学校の実態に応じていろいろな取り組みをしております。心の健康教室の実施ということで、スポーツ障害の予防では心と体のストレッチ、口腔の健康に関する指導では、歯ぴかちゃん俳句の掲示とそれから全国小学生歯みがき大会への参加、歯科健診に合わせての歯垢の染め出し等を通して指導の方もしております。裏面をご覧ください。生活習慣に関する指導では睡眠時間等の実態把握、生活リズム調べ小学4年生対象の生活習慣病予防に関する授業、学校保健委員会で生活習慣病の予防についての講演と夏休みに頑張りカードを作成してそのカードの実施、児童生徒保健委員会活動で目の健康や冬休み前の生活リズムの大切さについての発表、保健だより等の作成など、生活習慣に関する指導では、各学校様々な方法は違えど、いろいろ工夫をして実施しております。栄養教諭と連携した指導ということで保護者対象の講話を含む給食試食会の開催をお願いしたり、先ほどもありましたように、学校の方で学級活動による指導や家庭科での授業をお願いしております。また、給食のときの放送で、献立の方に毎日の紹介を放送原稿として各学校に配っていただいておりますので、そういうのの紹介というのもしております。小学4年生の保健学習二次性徴についてのTTの授業も養護教諭、それから栄養教諭の先生をお願いしたりもしております。がん教育として、全校生徒対象の講演会の実施をしているところもあります。その他では、思春期SOSセミナーや薬物乱用防止教育の実施もしております。取り組みに関しては以上です。

ちょっとお聞きしたいということで質問が2点ほどありましたので一緒に紹介させていただきます。薬物乱用防止教育やがん教育を推進していく上で、外部講師も積極的に活用するようになっております。伊予市ではどういった機関に依頼することが可能か教えていただけたらと思っております。2点目に、歯みがきに関する実態把握の結果、コロナ禍の中、給食後の歯みがきに抵抗のある生徒が多数いることがわかりました。生徒数も多く手洗い場も混雑するので、どう対策すれば対策していけばいいか、またこのように生徒数が多い中、給食後の歯みがきをさせるかどうかも教えていただきたいということで2点質問がありました。

田中会長	<p>また後ほどご指導いただけたらと思います。よろしくお願いいたします。以上です。</p>
影山委員	<p>井上委員より提案ありました協議課題ですけれども、まず薬物乱用防止教育につきましては保健所の方をお願いいたします。</p>
田中会長	<p>愛媛県では、県政出前講座というものがございまして、一般の県民の方に広く政策や施策等についてご理解いただきたいということで県庁では広報公聴課もしくは地方局であれば地域政策課というところに申し込んでいただければ、いろいろ健康づくりについて計画等とかそういうものについての出前講座っていうのをしていますので、そちらに申し込んでいただければ担当部署の方に連絡が来まして出前講座という形での対応もできますし、あともし部署がわかれば直接その部署、がん教育でありますとか薬物乱用防止とか言うのであれば保健所が担当になりますので直接、保健所にご連絡いただいても対応できるような形になっております。</p>
事務局	<p>もう1つ協議課題の歯みがきの実施の件ですけれども、保健センターよろしくお願ひします。</p>
田中会長	<p>失礼します。コロナ禍の中での歯みがきについてなんですけれども、日本学校歯科医会っていうところのホームページの方にも記載はあるんですけれども、やはり食後の歯みがきっていうのは必要にはなってきました。十分、考えて対策をとっていただいて、今日、資料の方に入れさせていただいてるんですけれども、なるべく唾が飛ばないように手で覆ったりしてもらおうというふうにしてもらって、後うがいも少量の水でももらおう、やっぱりどうしても人数に対して洗面所が少ないところは、教室で歯みがきをしてもらって、コップいっぱいもいらないのでちょっとお水を用意してもらって歯磨きが終わったらそこでブクブクうがいをしっかりしてもらって、コップの中に吐き出してもらって静かに捨ててもらおうっていうようなことも効果的です。というふうに出ていますので、それぞれの学校で人数にもよるんですけれども、また学校それぞれで相談していただけたらと思います。安全対策をしていただいて歯みがきを継続していただけたらと思っています。</p>
野澤委員	<p>ありがとうございます。それでは次に伊予市栄養教諭、野澤委員よろしくお願ひします。</p>
	<p>栄養教諭を代表しまして野澤が発言させていただきます。学校での食育に関しては、養護教諭の井上先生の方からも説明していただきましたので、私の方からは、主に給食センターでの取り組みを紹介していただけたらと思います。以前からしていることなんですけれども、一つ目は毎月14日の伊予市食育の日に合わせて、伊予市産の食材を使った伊予國味噌汁を提供しております。その他、郷土料理として伊予さつま、芋</p>

炊き、たこ飯なども提供しております。小学校6年生の家庭科の授業や給食委員会で給食の一食分の献立を考えていただきまして、それを3学期の給食メニューに取り入れております。伊予農業高校生とタイアップをして給食用のレシピ、主に、干しシイタケをたくさん使うようなレシピということで給食メニューを考えてもらって、今年度は2回です。昨年度は、6回実施をいたしました。それから給食センターの見学については、今、新型コロナのことでなかなか受け入れができていないんですけども昨年度ですね、幼稚園1校小学校2校が来ていただきました。それと、例年、夏休みに給食センターを知ろうということで給食センターの見学や給食センターの調理器具を使って、調理実習ということをしておりましたが、今年度は3年ぶりに開催することができまして、ただ調理実習はやはりちょっと感染症の方が不安ということで調理して取りやめまして、クイズラリーですとか大きな機械を擬似的にお水を張ってしゃくですくうとか、大きなしゃもじスパチュラというしゃもじがあるんですが、そんなものでかき混ぜてみるとかというような体験的な活動にして実施をいたしました。今年度、応募総数がとても多くて3分の1程度の人しか見学していただけませんでしたので、来年度は2部制にして倍ぐらいの人数を受け入れできたらなど計画しています。それから夏休みに学校の方で、伊予國味噌汁ポスターを課題として出していただいて、作品を提出していただいております。栄養教諭の方は、先ほど申しましたように給食時間に、小中学校訪問したりですとか家庭科や学級活動の方で授業をさせていただいています。毎日の給食時間の放送では、今日の伊予市産ということで、伊予市で取れた食材を使っている場合はその食材を紹介しております。小児生活習慣等予防健診の事後指導対象者に対して、栄養指導を養護教諭の先生とともに行わせていただいています。最後ですけれども、課題とかの質問ということなんですけども、給食では食物アレルギー対象の児童が年々増えておまして、今も市内で45人ほどの児童生徒のアレルギー食を対応しております。近年は、「赤魚アレルギーです。」という、保護者の方がご相談される方が多くて、今、伊予市の学校給食センターでは、赤魚は使っていないのですが、保育所や幼稚園の方では赤魚を使うことが多いのか「家では食べないんですけど、赤魚アレルギーなんです。」っていうようなご相談が多いので、この場合どういうふうにしていったらいいのかなというのを今、悩んでいるところであります。何か情報がありましたら教えていただけたらと思います。

田中会長

食物アレルギーに関することですが保健センターの方でよろしくをお願いします。

事務局

失礼します。健康増進課の山内です。保育所の所長に確認したところ、

田中会長	<p>保育所給食では、白身魚は赤魚を使うことが多いそうそうです。その頻度はどれぐらいかということなのですが、週に1回か2週に1回ぐらいは赤魚が出てくるということでした。現在なのですが、保育所の園児で赤魚アレルギーというお子さんは3人いらっしゃるそうです。保育所の園児が全体で320人ぐらいなので、大体100人に1人ぐらい赤魚アレルギーがあるようです。保育所給食では、アレルギーのあるときは、それがメインの食材のときは他の食品で代替食にしている、魚の代わりには鶏肉を使っていることが多いそうです。アレルギーの食品で用量が少ない食材のときは除去だけをしているということでした。</p>
武本委員	<p>ありがとうございます。6人の委員からご報告いただきましたけれども、ただいまの報告につきまして、ご意見とかご質問がありましたがお願しいたします。</p> <p>興味というか関心の部類なんですけど、アレルギーのところアレルギーを持っている子供さんというのはかなり増えてきてるのかなと思うんですけど、どういうアレルギーが多くて何かありますか。そういう傾向みたいなのは。</p>
野澤委員 武本委員 井上委員	<p>食物に関してでよろしいですか。その他のアレルギーですか。</p> <p>じゃあ、何かせつかくなんで全体的に、特に穀物なんですけど僕らは。学校の方では、例えば結膜炎だったりとか何て言うかな、耳鼻科の方のアレルギーとかそういうものを保護者の方がアレルギー花粉症関係とかそういうところからアレルギーですっていうふうに言われる方が大変多いのは多いです。時期的なものにもよりますので、3月4月ぐらいだったら耳鼻科関係だけとか、夏になっておさまりますっていうようなところで入学するときに保健調査をするんですけども、その欄に記載があることは多いです。食物アレルギーは、後ほどあるかと思うんですけど、本校でも対応している児童は2名、給食に出てこなくても他の食材でちょっとアレルギーです。っていう保護者の方もいらっしゃいますが、給食では出てこないから希望はしませんということで希望はしておりません。</p>
野澤委員	<p>では、食物アレルギーに関してなんですけども、今、特に多いのは卵アレルギーそれから種実類が段々増えてきているのと、甲殻類エビやイカとかが多いです。小麦とか乳とかのアレルギーもおりますが、特に小麦の場合はもう少し食べられませんっていうような衣の繋ぎの物とかベーコンとかハムに入っているような小麦もダメですっていうようなお子さんも最近出てきています。乳に関しても、ちょっと肌に飛び散っただけで症状が出ますっていうようなお子さんも最近出てきていますので、段々と症状がひどいお子さんが多くなってきているのかなというふうに感じています。</p>

田中会長	他に何かございませんでしょうか。よろしいでしょうか。給食でのアレルギーも大体個別に対応できているような状況でしょうか。
野澤委員	入学前に診断書などをまずいただいて、面談をさせていただいて、給食でどのように対応するかというご相談をさせていただきます。保護者の方のご希望に合わせて給食で除去食対応したり、代替りのものを提供したりとかというような対応をしています。実際には、毎月翌月の給食のメニューを見ておひとり、おひとりどのような対応をするかということを保護者の方と相談させていただいて決定して実施をするというような形をとらせていただいています。診断書は、毎年1回提出していただいて症状が変わる場合もありますので、毎年提出していただいて、年度ごとの更新というように形にさせてもらっています。
田中会長	どうぞ。
武本委員	すいません種実類というふうにいるのは、ちょっとここは特にはどういうものですか。
野澤委員	ゴマとかアーモンド、カシューナッツ、クルミとかそういうようなものになっています。ピーナッツは、学校給食では今出さようにして症状がとてもしどくなるので出さないように気をつけていますので種実類というとそのようなところになります。
田中会長	赤魚っていうのは具体的に魚の名前ではどういったの魚でしょうか？赤い色をした魚の種類。
野澤委員	そうですね赤魚っていう、はい白身魚で皮面が赤色の赤魚という種類になるかと思います。
田中会長	他にどなたかございませんでしょうか？ご質問、よろしいでしょうか？それでは続きまして協議事項 2 を伊予市健康づくり食育推進の取り組み状況について事務局よりご説明をお願いいたします。
事務局	事務局の山内でございます。資料 2 について説明します。この一覧表は、今年度、市役所各課で実施している健康づくりと食育の事業をまとめたものです。市で 120 の事業を実施しております。新型コロナ感染症の影響で例年通りの実施は難しく中止や規模を縮小したものもあります。当課の事業については、4 ページから 9 ページに記載しております。4 ページの事業の高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施は令和 3 年度から後期高齢者広域連合の委託を受けて、市民課、健康増進課、長寿介護課で取り組んでいます。事業の内容は、後期高齢者健診を受けられた方への個別支援や各地域や保健センターでフレイル教室などを開いています。市の集団検診では、昨年、コロナの影響で実施をやめていた超音波検診と乳がんのエコー検査を再開しました。今年度は検診の対象者にハガキを送付して受診勧奨を行ったところ、受診者数が昨年度よりも増えています。特定保健指導では、健診でメタボ予備軍となった方

に、生活習慣病を改善するための保健指導を行っています。対象者への初回面談の実施率は約7割でした。6ページから食育関係の事業を掲載しております。保育所幼稚園の年長児とその保護者を対象に実施していた。料理教室のキッチンは、コロナの感染予防のため令和2年度から引き続き中止となっています。栄養相談は、健診結果などから食事を改善したい方や食事療法をしている方を対象に個別での栄養相談を行っています。献立選びや食事作りなどの改善点などについて話しています。食育推進リーダー研修会は、食生活改善推進員のリーダーを対象に月に1回健康についての講義と調理実習という内容で開催しています。これらは感染予防のため、調理実習での飲食を中止しているため、作った料理は持ち帰るという方法で実施しています。2ページの夏休みに実施している親子ふれあい健康教室は、健康増進課と社会教育課、伊予市食生活改善推進協議会が連携して、レクリエーション、健康づくりについての講話、調理実習でおやつ作りの教室を開催しました。以前は昼食を作り、みんなで試食をしていましたが、コロナ禍のため、現在は作ったおやつは持ち帰るという方法で実施しています。

心身の健康づくりの関係では、今年度はゲートキーパー養成を4回行い、高齢者見守りや市の職員、市民を対象に自殺予防に関する講演を実施しました。以上で健康増進課関連の主な事業について説明を終わります。

すみません。引き続き続きまして、資料3の健康づくり計画における指標の変化について篠原の方から説明させていただきます。お手元に資料の方をご準備ください。こちらの方は計画の指標の中から算出可能な指標のみ掲載しております。

1.2ページの①から5番については、健診に関わる指標となっております。①のがん検診受診率なんですけれども、こちらの方がちょっとがん検診の算出方法が、2018年2021年の方に変わりまして、なかなか作成時との比較や評価が難しくなっているところではあるんですけれども、県が取りまとめしております市町別の受診率を見ますと昨年度令和3年度につきましては、伊予市は胃がんが9位、大腸がんが11位、肺がんのX線が14位、乳がんが10位、子宮頸がんが11位という位置におりまして、肺がん以外では県平均の受診率を上回っている状況になっております。

続きまして、2番の循環器疾患についてなんですけれども、この指標として1つ目に収縮期血圧の平均値を用いております。男女とも数値が2から3の変動はあるんですが、策定時の値とほぼ変わりなく、最終目標値に到達できていない状況となっております。LDLコレステロール高値の方の割合についてもまだ目標値に到達できていない状況となってお

ります。3番目の糖尿病についてなんですけれども、これの糖尿病の治療継続者の割合について、これについては2018年度より50%を維持しておりますので、一応、目標の方には到達している状況なんですけれども、あとの2つについてはまだ達成できてないところになります。

続きまして裏面の④の肝疾患ところなんですけれども、B型肝炎、C型肝炎の受検率について、これも年度によってばらつきがあって、コロナ禍で全体の受診者数減ったことも影響して新規の受診者数も減少しているため、受診受検率っていうのが低下している状況となっております。⑤番の特定健診、特定保健指導につきましては、受診率につきましては中間評価以降上昇傾向にあったんですけれども、やはりこれもコロナ禍の影響を受けて2020年度は減少しております。特定保健指導の実施率につきましては、目標の60%にほぼ近づいてきている状況となっております。以上がん検診肝炎ウイルス検査、特定健診の受診率向上については、いずれもこの計画の中で優先的に取り組む重点課題となっております。コロナ禍の中、受診控えもあって受診率が低下しておりましたけれども、2021年度から徐々に回復してきているところであります。しかしながらまだコロナ前の状況には至ってはおりませんので、今後も受診率向上に向けた対策を講じ、また要指導になった方の生活改善が図れるよう、保健指導や栄養指導の充実を図りたいと考えております。

続きまして、3ページの資料をご覧ください。(3)②の次世代の健康の指標についてなんですけれども、低出生体重児の割合については、増加傾向にありまして、ここ数年、策定時の指標を上回っております。目標達成は今のところ難しい状況となっております。コロナ禍もあって出生数は減少傾向にあるものの、ハイリスクの妊婦は増加しております。引き続き妊娠期からの支援の充実を図りたいと考えております。また、肥満傾向の小学5年生の割合についてなんですけれども、これは年度によって増減がありますが、全体を見ると減少傾向を示しているように思います。③の方高齢者の健康についてです。要介護認定の割合、低栄養傾向高齢者の割合とも策定時の資料より減少しており、目標値を達成し到達しているところではございます。先ほども申しましたが、昨年度から実施しております高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業をさらに推進してまいりたいと考えております。

続きまして、(5)の④妊娠中の飲酒についてですが、ここ数年は0%で推移しておりますが、⑤の妊娠中の喫煙につきましては、年間、やはりあの1,2名の喫煙者がおり、0にはなっておりません。母子手帳発行時の面談などで禁煙指導もしておりますが、今年度末より給付される子育て給付金と合わせ妊娠期からの伴走型相談支援により妊娠期から相談、指導の充実を図りたいと考えております。

最後に4ページをご覧ください。歯・口腔の健康の指標についてですが、3歳児でう蝕のない割合、12歳児の1人平均むし歯数については、中間評価から横ばいの状態になっております。この乳幼児期、学童期のむし歯予防については今後も保育所、幼稚園、学校関係者と連携を図りながら、むし歯予防対策を実施してまいりたいと思っております。以上、資料についての説明を終わります。

続きまして重点課題となっております肝疾患対策について担当より説明いたします。パワーポイントを使用いたしますので田中会長様、佐々木会副会長は横の席に移ってごらんいただけたらと思います。

失礼します。伊予市健康増進課、保健師をしております中岡と申します。これから肝炎撲滅に向けた伊予市保健センターの取り組みについていくつかご紹介させていただきます。座って失礼します。まず肝炎を取り巻く近年の状況ですが、愛媛県は、肝がん死亡率が長年全国ワースト1位から2位という結果が続いておりました。しかし、最新、令和2年の調査では、ワースト17位と大幅に改善が見られております。そんな愛媛県の中でも、伊予市の肝がん死亡率、愛媛県、全国、中予保健所で比較した表になります。ご覧になってわかる通り、伊予市は県内でもかなり上位を占めております。

こちらは、伊予市保健センターで実施しております集団検診で発見される肝炎の陽性率の推移です。折れ線グラフが陽性率、棒グラフが受診者数となっております。年によってばらつきはあるものの、B型肝炎、C型肝炎ともに陽性者は平均して出ていることがわかり、今後も受検者数を増やして陽性者の掘り起こしが必要と考えております。伊予市保健センターでは、まず肝炎検査を受けていただく受検、陽性者がその後、精密検査等を受けていただく受診、そして治療が必要な方は治療、治療終了後も定期検査を受けていただく受療、この受検受診受療のサイクルを意識しながら、これら4つの活動を軸に進めております。

まず、受検勧奨の取り組みについてご紹介します。伊予市保健センターでは、集団検診で肝炎検査が受けられます。対象は20歳以上、料金は無料となっております。レディースデーや休日健診を設けることで幅広い年齢、ライフスタイルの方に受けていただきやすい体制を作っております。受検勧奨は幅広い年代にアプローチしております。本人だけではなく、そのご家族やご友人にも周知できるよう、母子の乳幼児健診などでもチラシを配布しております。また、個別通知といたしまして、案内はがきを発送したり、集団検診の予約時に口頭で肝炎検査を受けませんかという形でご案内をしております。昨年度、特に反響が大きかったのがはがきでの個別勧奨です。近年、40歳から60歳代の方に陽性者が多く出ていたことから、対象を50歳、そして61歳に設定して郵送しま

した。結果、50歳では受検率11%、61歳では受検率14%となりました。特に50歳での反応が大きく日曜日の検診を入れて案内もしていましたが、約50名、16%近い方からお問い合わせをいただきました。検診日によって定員数を設けていたため、お断りする方も出てきてしまいました。若い世代でも肝炎に対する関心の高さが伺えました。勧奨した方の中から陽性者も1名見つかっております。こちらが今年度の実施結果になります。今年度はより利便性を高めるため、Web予約を案内しました。その影響からか、50歳の受検率は7%、61歳の受検率は10%と、昨年度と比べるとやや受検率は伸び悩みました。ただし、その中でも陽性者は1名発見されており、個別勧奨も重要性を改めて感じた1年となりました。今後もより多くの方に受けていただけるよう勧奨方法やその内容をブラッシュアップしていこうと考えております。

陽性者が出た場合のフォローについて図式化しております。保健センターでは、肝炎医療コーディネーターが、ご本人様と面談して結果をお伝えした上で、資料やその後の手続きの流れを説明しております。また確実に受診につながるよう田中先生をはじめとする伊予市内の肝臓専門医の先生をご紹介しております。その後、受診確認ができない方には再度こちらからご連絡し検査受けませんかという形で受診勧奨を行っております。治療が終了した後の定期検査と受療が途切れないよう定期検査の重要性を伝えるチラシ、そして肝臓病教室のご案内等を個別に継続して送付しております。

こちらがこれまでの陽性者への面談実施数とその後自信に繋がった数を求めたものです。面談実施率は、近年100%になっておりますが、受診に繋がらない方が一定数いるのが現状です。受診されない理由としましては、以前御指摘されたことがあって、いつか行こうとは思っているといった方がほとんどで長年放置していても問題がなかったという意識があるために受診の必要性を感じていただけないケースが多いです。そういった方にも届くよう、正しい知識の普及啓発に向けた取り組みにも力を入れています。行政の強みであります市民全体への発信力を生かしまして、広報誌での周知や教室を開催するなど、こちらも様々な年代の方へ広く周知を行っております。こちらが今年度掲載しました、広報伊予市の記事になります。毎年世界肝炎デーに合わせて、広報7月号に特集記事を掲載しております。ご覧になった方もいらっしゃるかな。本年度は、見開き両面を使って肝炎について大々的に取り上げました。愛媛大学肝疾患診療相談センターのセンター長でいらっしゃいます福本先生にご協力いただきまして、専門医の立場から、肝炎検査の必要性や肝炎治療は、昔とは違う大きく進歩しているんだよということを伝えていただいております。また、集団検診で陽性がわかった方にインタ

	<p>ビューをしまして住民目線での情報発信というところも行いました。こちらの広報掲載に合わせて、先ほどの受検勧奨はがきを送って相乗効果も狙っております。また、年に1回、肝臓病予防教室を開催しております。愛媛大学肝疾患診療相談センターの先生方にお越しいただき、ウイルス性肝炎から脂肪肝、生活習慣まで幅広いテーマでお話いただいております。今年も2月の15日に予定しておりますので、地域の皆様でご興味のある方がいらっしゃいましたら、ぜひご参加お声掛けをよろしくお願いいたします。</p> <p>最後に肝炎医療コーディネーターをご紹介します。肝炎医療コーディネーターとは肝炎の身近な相談窓口として活動し、検査、治療、B型肝炎訴訟など肝炎に関する様々な情報発信を行うものです。伊予市保健センターでは写真にもある通り、現在7名がコーディネーターとして活動しております。職種は保健師、栄養士です。担当業務は、成人分野に限らず、母子や精神など多岐にわたっております。このように、職種や担当業務に関わらず、コーディネーターの資格を取得することで、異なる業務においても切れ目なく支援できる体制作りにつながっていると考えます。肝炎は伊予市の重要課題でもありますので、1人での受検受診受療に繋がりますよう今後も課を上げて取り組んでいきたいと思っております。長くなりましたが、以上で取り組み紹介を終わります。ありがとうございました。</p>
田中会長	<p>ただ今の説明に対して何かご意見とかご質問がありましたらお願いいたします。私から1つ、肝炎の検診で50歳60歳に対応してると言われましたけど、かなり高齢化してるように思うので例えば70歳とか75歳ぐらいの方に案内するとかできませんでしょうか。今の70から75歳ぐらいC型のキャリアとか一番多い年代だと思うんですけど。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。おそらくそういった高齢者の中で肝炎が多いという印象があったので、以前は高齢者向けに勧奨をかけてきたところで、ある程度つぶしが効いてきたので、年代をおとして勧奨をかけてみようかという流れに変わっては来たんですが、また年齢の方も考えてみます。ありがとうございます。</p>
田中会長	<p>まあC型肝炎なんかも抗ウイルス薬、かなりいいのができて、ほとんど見つければ、ほぼ100%ウイルス消えるような状況になってますので掘り起こしをお願いしたいと思います。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p>
田中会長	<p>他に何かご意見ございません。どうぞ。</p>
安渡委員	<p>いいですか。すいません。今の特定健診の内容でお答えにくいと思うんですけど。最近、私、带状疱疹になりましたね。後遺症は結構ひどいんですよね。人に聞きますとね、生命に関わる関わった人もいるという</p>

<p>田中会長</p>	<p>ふう聞いておまして、ちょっとわからないですが特定健診の中であなたはこの値がこうだから帯状疱疹のワクチンを打った方がいいんじゃないですかなんて勧奨ができるのかどうか、ちょっとわからないんで、どうもですね人に聞くと1回かかったからって免疫ができて、二度かからないっていうもんじゃないらしくて、人によって2度3度、帯状疱疹になる人もいるということらしいんですよ。その辺が、今の医学的に難しいのかもしれませんがそういった勧奨をしてあらかじめ打てるもんならワクチンを打ちたいなということなんです、その辺どうですかね。難しいと思うんですけどですね</p> <p>そうですね。帯状疱疹ワクチンもかなり最近シングレアとかいう不活化ワクチンが出てきてかなり昔のあのビケン生のワクチン比べると有効率がかなり90%とか上がってる。ただネックはやっぱり値段が少し高くてですね。1回2万円ぐらいでも2回やらないといけないのが、まあうちに来られてる患者さんでもちょっと関心があるみたいだけど値段をきくとちょっとまだ考えます。と言われることもあります。その辺が今のところネックかなと思いますけどもできればやっぱりかなり今回のワクチンはいいのでやるだけの意味はあると思います。</p> <p>どなたかいらないでしょうか。公的に帯状疱疹ワクチンが公費でというのは今は無理な状況ですね。</p>
<p>武本委員</p>	<p>ついでにちょっと、B型とかC型って肝炎のことですけどはい。特に高齢の世代の方はいわゆる薬害とかでなった方が、うちの祖母もそうだったんですけど、若い世代でもおられるのはちょっと僕は詳しく、A型は多分普通にその例えば流行地だったらうつるってあると思うんですけど、B型C型ってそれ以外でも何か感染するんですけど若い世代でも注意した方がいいんですけどっていうようなところなんですけど</p>
<p>田中会長</p>	<p>そうですね昔からのB型肝炎になるといろいろ3タイプがわかれてましてBとかCとかいうそれは母子感染であったりとかやっぱり予防接種の中でB型肝炎の3タイプAっていうのはやっぱり若い人の性的なあれで感染してキャリア化するっていう場合もあるみたいですので、なかなかちょっと完全には減ってはこない感じですね。母子感染に関してはかなりワクチンの予防効果があがっているそういう状況です。はいどうぞ</p>
<p>事務局</p>	<p>すみません。先ほどの安渡委員からご質問があった帯状疱疹のワクチンを特定健診のときに接種勧奨できないのかってところなんですけれども、予防接種の方は国が定めております定期接種と言いまして、市町村が接種勧奨などを行っている分野には入らないワクチンでありまして、任意接種という形で個人で受けたい人が受けるというような予防接種の部類に入りますので、なかなか市が受けなさいとかというふう</p>

安渡委員	<p>に周知ができないところです。病院とかに行くと帯状疱疹ワクチン受けましようとか、何かそういうポスターなどを目にします。そういうのを見ながら、ワクチンを受けたい方が受けるようなものに今のところはなってるのではないかなと思うんですが。</p>
田中会長	<p>病院行ったら事前にわかるもんなんですかね。いや、それになってから行く人が多いらしくて、今の医学的に事前に病院に行って打った方がいいですよとお医者さんに言われるんかその辺がよくわかんないんですけどね。</p>
影山委員	<p>うちもそういう新しい帯状疱疹ワクチンがポスターとかも出してます。かなり有効率は高いですけど、ちょっとネックはちょっと値段だけということなんですけど。どなたかございませんでしょうか。はい、どうぞ。</p>
田中会長	<p>中予保健所の影山と申します。帯状疱疹についてなんですけども、子供の頃に水ぼうそうかかった方はもう既にウイルス自体も持たれてて脊髄の中の神経節の根かなっていうところに潜伏感染ずっとしとるような状況でして、お歳とともに免疫が落ちてくると、それがまた発症しちゃうっていうふうなことになりますので、その免疫が、いかに弱ってきて発症するかっていうのはもうちょっと健康診断レベルではちょっとわからんのかなっていうのが実情でありまして、そこで検診のどっかのデータを用いて受診というのはちょっと難しいのかなっていうことになりますので、日々の体力を落とさんようにとか、免疫を高めた生活をしていただくっていうのが一番の予防になりますので、それにワクチンを打つどうかっていうのはちょっと個人の判断になるかと思います。</p>
事務局	<p>がん検診の受診率ですねやっぱり 10%台っていうのはかなり低いんですけど危惧している方は会社の方から受診勧奨をされる場合、結構あると思うんで全体的なものはもっと高いんでしょうね。</p> <p>すいません。現在、出しておるのが今、算定しているのが国保の方の受診率ということで、なかなかご自身である社会保険の方とかもご自身で行ってる方もおそらくあと人間ドックとかそう言うので受診されている方もおりまして、なかなかその方のデータまでがうちには入ってこないんで、本当の受診率っていうのがわからないとこなんですけれども。おそらく、これ以上には、個人で行ってるらっしゃる方、会社でもそういうがん検診を取り入れてるところもございますので、そういう方もいるので、ちょっと受診率としてはっきりした数字として表せないのが現状です。</p>
田中会長	<p>ご質問はよろしいでしょうか？それでは意見交換します。よろしいですかね。意見交換になりますけど、計画推進を図るために委員のみならず何かご意見がございましたらお願いいたします。</p>

武本委員	<p>すいません。これをさっきから僕また気になってたのがあのさっきの資料3の次世代の健康のこの指標ですけど、これにまたアレルギーかって話なんすけど、アレルギーの人を子供たちの割合とかを多分学校さんでは調べているしデータもある程度あると思うんですけど、これを調べてこれを改善するに当たってどうするかっていうことは難しいと思うんですけどそれで僕自身も気になると僕も独身だから子供はもちろんいないんですけど、でもまあ友達のところ、やっぱりそういうアレルギー持ってる子がすごい多くなってる。さらにもっと言うと、この指標のところでもう一つ気になるのはいわゆる発達障害の子たちも多くて僕の同級生の子供さんもちよとなってる方もいてやっぱり増えてるよという話は聞くんですね。この辺もそれをどうやって改善するかってそんな難しい話だと思うんですよ。もう多分出産の平均年齢が上がるとかそういうところが原因なんだろうと思うんですけど、アレルギーに関してはもう生活環境ですかね。やっぱり清潔すぎるいわゆる僕の話なんですけど、バクテリアに接触をしない生後6か月以内にバクテリアに接触する頻度とか割合とかは少ないといわゆる抗原抗体免疫が主体になってアレルギーになるみたいな話を聞いたことあるんですけど、実際、まずそういうようなことをこうやって目標年度で何%以下にするっていうのは難しいにしてもモニタリングするのはやった方がいいんじゃないかとかこっちの方が多分その何か重要な気がしてるんですけどっていう個人的な話ですけど。</p>
田中会長	<p>よく言われるのは昔はですねちょっといろいろあってそれアレルギーに対して免疫ができて食物アレルギーはそういう花粉症とかそういうのは少なかったけど逆に清潔になってそういう抗原に触れる機会が少なくなったそういう食物アレルギーとか花粉症みたいなのが出てきたっていう話がちょっとあります。どうするかっていうのはなかなか難しいと思います。何かありますでしょうか？委員の中からあまり意見がでないようなんですが佐々木委員どうでしょうか。</p>
佐々木委員	<p>歯科医として日ごろ考えていることを発言させていただきます。私は、1951年生まれですから大学で歯学という学問を一応勉強したっていうのは1970年代なんですね。ところがですね、それから80年代にかけていわゆる医学のパラダイムシフトが起こりまして基礎の部分もうガラッと変わっちゃったんですよ。ですから私はあの卒業してからいろんなことを学びなおさないといかんかったんです。そういうところから皆さんちょっと、変て思われるかもしれませんが、普通、口っていうのは物を食べるためにあると思うんでしょう。僕もそう思っていました。そういう教育を受けました。ところがですね、今、違うんですね。どうも口はですね話すためにあるんです。笑えるでしょう。どういうこ</p>

とあって言ったら人間は言葉を発しました。それはですね、息をして食べ物を飲み込むということを同時にここでやってるんです。咽頭っています。それが下がることによって、逆に言えば息を一瞬止めないと物を飲み込めません。試してごらんください。そういう仕組みになっちゃったんです。それは、神様を使ったら語弊があるかもしれませんが進化の神様ですね。それで言葉を発するようになったんです。いわゆる他の動物は言葉発しませんね。ただ、ワンワンと言ったりヒーヒーと言ったりブーブーと言ったりするだけです。言葉を発するために咽頭が下がってそれで口はですね筋肉が衰え、歯も小さくなり、どういったらいいんでしょうか、体からあらゆるものが退化してくるんです。僕が思ったのは、僕らは私が今勉強してる治療なんかしてる学問というのは退化の過程にあるやつ何とか食い止め現状維持する。そういう学問だなと思ったわけです。若いころにそんなこと思ったら、相当勉強できたと思うんですが年を取ってからやっと気づいたものですから。今、自分の頭の中では進行形を勉強中とかそういうことについてます。もう1つ、さっき言葉と言いましたけども、僕はその計算こんなことで計算したわけじゃないんですけど、脳が発達して言葉ができたんですけども、脳が発達の言葉がどういう具合にできたかっていうことをやっぱ調べた先生がいるんです。そしたらですね、それを1年に比較したわけですね、ずっと長い年月を、そうしたら、言葉の発達っていうのができたってというのは大晦日12月31日の11時だって言うんですよ。その間、ずっと言葉なしで人間は生きてたわけですね。やっぱりどういうことかって言ったら言葉なしで人間はいる全世界を認識して行動してたわけです。それは、素晴らしいことなんです。それはどういうことかって言ったら、言葉はみんなにコミュニケーションって要するに、意思疎通はできるかもしれませんが、誰かが言葉で嘘ついたら、これ信じ込んだらどうなるんですか。たちまち全滅するでしょ、そうじゃなくって、人類というのはそういう自分の五感を発達させて生きてきたわけです。それを取り戻しなさいっていうのはどうも最近の僕のテーマでもあります。どういうことかって言ったら例えば臭いってのありますね。臭いの口蓋いうんですけども、臭いのアレルギーを起こしているんですよ。それは、精神がおかしいんだっていうんじゃないかってそしたら犬はみんなあんなに臭いがすごい感覚の持ち主はみんな変だからって言うわけでしょ違いますよ。そんなことない臭いというのも、人間がそういう人が居るんですよ。そういう一瞬のうちに匂いがわかっちゃう人がいるんです。それは素晴らしいことです。手の感触だってそうです。ミクロン単位でわかるから手作りの製品は素晴らしいんですよ。そういうあらゆることを美術だってそうです。色彩が本当にわかる人はいるんです。そういうマニ

<p>田中会長</p>	<p>ユアル言葉なしで言葉でどうでもいいから語弊がありますけども、自分の五感を大切に作る人生がひょっとしたらこれからの人類をもう一段どういかな。進歩さす要因じゃないかなと。ちょっと長話になりましたけど申し訳ないです。</p>
<p>曾我委員</p>	<p>どうもありがとうございました。指名させていただいてよろしいでしょうか。、曾我委員から何かございませんでしょうか？</p> <p>今日の話の中でアレルギーとかの話が多く出てたと思うんですけども、特に保育所とか幼稚園の小さいお子さんはすごくアレルギーが多くて、年齢とともに下がってアレルギーを持つ子供は減っていくんですけども、最近はずごくアレルギーも複雑化してきていて、その食べ物を食べるだけじゃなくってアトピー性皮膚炎と食物アレルギーの関係とか本当に実際保育所でもあったんですけども、乳アレルギーの子供が牛乳石鹸を使っただけでも発症したとかも食べなくても発症している子供も増えてきている状況ですごくアレルギーの対応が今複雑化してきている現状にあります。ですので、栄養士を目指す学生さんも保育士を目指す学生さんも最近はずアレルギーの授業というのが一つ単独で作られているぐらいになっているんですけども、今日の話ですごく興味深く聞かせていただきました。あと1点なんですけど、食育が今どこの園でも学校でも多くがされているんですけども、このコロナの状況化で、すごくやりにくいとか食べ物を扱いますので、今までと同じようにやりづら面も出てきたんですけども、あくまでも一園一つの保育園の話にはなってしまうんですけども、私が研究の方でさせていただける保育園では、やっぱりコロナの状況で今までと同じような対策はできない、だけれども保護者の方はコロナの状況っていうのは重々承知なんだけれども、今までのように野菜を作ったりとかそれを実際に子供たちに食べさせるとか、今までのような食育を続けてほしいという声はずごく多かったです。ですので、そのコロナの状況と食育をどうやっていくかっていうのがはずごくこれからの課題といたしますか、方策が考えていけないところかなと思いますのでまた先生方にいろいろ教えていただきたいと思います。ありがとうございました。</p>
<p>田中会長 仲神委員</p>	<p>ありがとうございます。仲神委員から何かございませんでしょうか。</p> <p>すみません。途中、中座しまして申し訳ありません。今日いろんな話をお聞きしまして、まず伊予市の方でかなりたくさん健康づくりについてのあの事業をされてるっていうことがなかなか中学校、私は中学校なんですけども小中学校の現場でいうと先ほどのアレルギーだったり給食であったりっていうことが主になっててそういったなかなかその病気のことであって検診であったりっていうのは実際に入ってこないんですけども、こういったことをやっぱりもっとこう周知していけたら</p>

なっってこういうことだったらここに行ったらいい、ここに行ったらこれ
がわかるとか、先ほどもあったようななんて言いますかワクチンのこと
についてでも、もっと知らないといけないし子供たちも伝えないといけ
ないなっってということがたくさんあるなっっていうのを今日すごく感じま
した。私、昨年までは、特別支援学校の方に3年間勤務をさせていただ
いたんですけども先ほど、あの言葉が喋れないだったり発達障害があっ
たり、いろんなお子さんがいる中で、食べたら出す子が居るんですね。
食べたら出すのは嫌いなのか、食感が悪いのかなどわからないんだけど
も、それを教員は感じて、何がいけないのか何があったのかというのを
保護者の話で連携して進めていくと、その感覚っていうものもやっぱり
すごく大事だなっっていうのはやっぱりつくづく思いました。教員をして
るとやっぱり子供の状態がどうなのかなっっていうのをしっかり見て、保
護者と相談して進めていくというのが一番大事なので特にアレルギー
の場合は、そのそばアレルギーで事故があった件があったと思うんです
が、あれからかなり給食について何が入ってるのかっっていうのを気をつ
けてっってことはあったと思うんですけども、今、1人1人の保護者と子
どもをどうしていくかっっていうこともかなり丁寧にやってもらってま
すので、そういったことはすごく安全に給食なんかはさせていただいてと
てもありがたいなっと思っております。こういった政策を続けていただい
て、校長会の方でも、またどういった形で周知していったらいいかっ
てことを話していきたいなっと感じました。どうもありがとうございました。

田中会長
向井委員
田中会長

ありがとうございます。向井委員から何かないでしょうか。
別にないです。

食育に関しましてもなんか昔と違って若い世代では栄養が足りない
というよりは、むしろ過剰摂取の方がむしろ問題というような状況でも
ありますけども、実は、私はちょっと鬼北町の療養型の病院の院長から
聞いたことで高齢の方でその辺で昔は林業や農業でたくさん一升飯食
べて仕事をしてた方の場合、たくさん米もたくさん取ると、タンパク質
も含まれているので栄養取れるのは違うけど、やっぱり年取ったら食が
細ってくるとやっぱりタンパク質の摂取が足りなくなっってフレイルであ
るとか免疫機能が低下してるいう方が多くてというふうなお話があり
まして、高齢の方に対してタンパク摂取の教育する方法がないかなと個
人的には思いました。ほかに何かご意見ございませんでしょうか。
よろしいでしょうか。ないようですので、それでは以上をもちまして議
事進行を終わらせていただきます。ご協力ありがとうございました。

事務局

田中会長ありがとうございました。

続きまして、会次第のその他になります。委員の皆様、事務局から連

絡事項やお知らせなどございますか。

失礼します事務局の方から、あの1点説明させていただきますお配りしております計画期間の延長についてというA4の1枚ものこちらの資料をご覧くださいと思います。これ昨年度のあの書面開催になった折に、こちらの方を郵送で報告させていただいた資料ではあるんですけども、少し説明をさせていただいたと思います。国と県の計画が1年延長されることになりおまして、本計画についても国および県の計画を勘案して策定することといたしておりますので、1年延長し令和6年までの計画とさせていただきます。来年度は国が春ごろに、県の方は来年度中に次期計画を公表する予定でございますので、国、県の計画を勘案しながら、来年度は本計画の評価や策定に向け準備いたしたいと思っております。先ほど資料の方にも最終年度に2023年度となっておりますけれども、これが2024年度の方に変更になりますので、また来年度はそちらで資料の方を出していきたいと思っております。以上でございます。

長時間にわたってのご審議ありがとうございました。それでは、閉会にあたりまして健康増進課長の栗田よりご挨拶申し上げます。

失礼いたします。本日の協議会につきましては、本市の市民全員の健康に関わります多様な課題について各分野の専門家でいらっしゃいます。委員の皆様から非常に幅広く貴重なご意見ご提言をいただき心から御礼を申し上げます。ご承知の通り健康づくり食育推進事業につきましては、市民一人一人の正しい知識を学ぶことそれからそれぞれがご自身に合った健康づくりの活動であったり、食生活を継続していくこういったことから成果が出てくるものと思います。今後、市民や地域関係団体行政が一体となりまして、地域みんなで作る健康のまちの実現に向けまして一層周知啓発取り組んでいかなければならないと改めて考えております。まもなく来年度も始まりますが、2ヶ年度にわたりまして令和5年度、6年度に第二次伊予市健康づくり食育推進計画の策定が間近に控えております。多くの有識者の皆様からご意見頂戴することになろうかと存じます。委員の皆様方の関係団体各位の今後の益々のご健勝ご活躍を祈念申し上げまして簡単ですがお礼と閉会のあいさつとさせていただきます。どうもありがとうございました。

以上をもちまして、令和4年度、伊予市健康づくり食育推進協議会を閉会いたします。みなさま、ありがとうございました。